



ASSESSMENT OF TECHNOLOGY  
FOR BUILDING CONSTRUCTION

GBRC 性能証明 第 20-09 号 改 1 (更 1)

## 建築技術性能証明書

技術名称：ニューバースコラム工法

－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定 1）

申 込 者：株式会社新生工務 代表取締役 神農 一求

愛知県名古屋守山区小幡中 1 丁目 8 番 17 号

技術概要：本技術は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本技術の特徴は、への字形に加工した攪拌翼を二段設けた独自開発の掘削攪拌装置を用いることである。

開発趣旨：本技術は、セメント系固化材スラリーと地盤との攪拌性能を向上させるために、への字形に加工した攪拌翼を二段設けた掘削攪拌装置を開発した。この掘削攪拌装置を用いることで、特に粘性の高い地盤での施工性を改善し、改良体の品質の向上を図っている。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明は 2022 年 3 月 16 日発行の GBRC 性能証明 第 20-09 号 改 1 を更新するものであり、有効期間は、2028 年 3 月末日までとする。

2025 年 3 月 11 日

一般財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 川瀬 博



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および施工試験の立会確認により性能証明を行った。

資料 1：ニューバースコラム工法 性能証明のための説明資料

資料 2：ニューバースコラム工法 施工基準

資料 3：試験資料

資料 4：更新資料

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 は、本技術の施工基準であり、施工方法および施工管理方法などが示されている。

資料 3 には、資料 1 で用いた個々のボーリングコアの観察結果や圧縮試験結果、立会施工試験報告書などが取りまとめられている。

資料 4 には、施工実績や運用体制の維持状況などがまとめられている。

証明内容：申込者が提案する「ニューバースコラム工法 施工基準」に従って築造される改良体は、土質に応じて  $400 \sim 3,000 \text{ kN/m}^2$  の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土（シラスを含む）で 25%、粘性土（ロームを含む）で 30%を採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

#### 改定・更新の内容

新規：GBRC 性能証明 第 20-09 号（2020 年 8 月 28 日）

改定 1：GBRC 性能証明 第 20-09 号 改 1（2022 年 3 月 16 日）

- ・最大改良径の変更
- ・最大施工深さの変更

更新：GBRC 性能証明 第 20-09 号 改 1（更 1）（2025 年 3 月 11 日）